

教職 10 年目研修（小・中学校）

区 分	基 本 研 修
研修コード	2 1 0 5 0 5
事業主管	栃木県総合教育センター 研 修 部 TEL 028-665-7202

- 1 目 的 教職10年目の段階に即応した教育に関する知識・技能・態度等を身に付け、教員としての資質の向上を図る。
- 2 対 象 教職10年目に該当する小・中学校教員
- 3 研修時間 午前 9 時30分～12時 午後 1 時～ 3 時30分 （受付 午前 9 時～ 9 時30分）
ただし、第 1 日の終了時刻は、午後 3 時50分となります。
- 4 研修内容等

区分	期 日 月 / 日	曜	研 修 内 容	会場	講師・助言者等
第 1 日	5 / 23	火	研修オリエンテーション 講話 「10年目教職員への期待」 講話 「児童・生徒指導の意義とその在り方」 講話 「今求められる学習指導の在り方」 教科別分科会 ・学習指導上の課題 ・教科別分科会年間計画 ・課題研究の進め方 テーマ設定の観点	総合教育センター	総合教育センター所長 学校教育課職員 総合教育センター職員
第 2 日	6 月中		公開授業 A 授業研究会 課題研究テーマ設定	所属校	各学校職員
第 3 日	7 / 25	火	講話 「人権教育の推進」 教科別分科会 ・学習指導の基礎・基本 ・学習指導の自己点検・自己評価 ・課題研究テーマ及び内容の検討	総合教育センター	総務課職員 学校教育課職員 総合教育センター職員
第 4 日	7 / 31	月	講話 「教育関係法規」 講話 「学校における特別支援教育の推進」 児童・生徒指導、学級経営に関する研修 下記の中から一つ選択 A「構成的グループエンカウンター」 B「ロールプレイング」 C「事例研究」	総合教育センター	教職員課職員 総合教育センター職員

区分	期 日		研 修 内 容	会場	講師・助言者等
	月 / 日	曜			
第 5 日	8 / 10	木	講話・演習 「協同的な学びの連続性」 実践発表 「私の進めた学級経営」 ～望ましい集団活動を通して～ 教科別分科会 ・学習指導の工夫 ・教材・教具の工夫と活用	総合教育センター	小・中学校教員 学校教育課職員 総合教育センター職員
第 6 日	夏季休業中		道徳教育 ・資料分析、学習指導案作成 ・模擬授業及び研究協議	各教育事務所	教育事務所職員
第 7 日	夏季休業中		講話・研究協議・演習 「地域における児童・生徒指導の在り方」 （小・中・県立学校合同）		教育事務所職員
第 8 ・ 9 ・ 10 日	夏季休業中		社会体験等研修（3日間） 下記の中から選択 ○福祉施設体験 ○民間企業体験 ○生涯学習関連施設体験 ○ボランティア活動体験	各研修場所	各活動場所担当者
第 11 日	夏季休業中		異校種体験研修（受入校による事前打合せ） ・ティーム・ティーチングによる保育、授業の在り方 ・学校理解と幼児・児童・生徒の実態把握		各学校職員
第 12 日	9 / 21	木	教科別分科会 ・課題研究の中間報告 ・学習指導と評価の一体化 ・学習指導案・評価計画の検討 ・模擬授業及び研究協議	総合教育センター	学校教育課職員 総合教育センター職員
第 13 日	9月 ～ 12月		異校種体験（受入校における実践） ・異校種における保育、学習指導、幼児・児童・生徒指導、学年・学級・ホームルーム経営の理解	各研修場所	各学校職員

区分	期 日		研 修 内 容	会場	講師・助言者等
	月 / 日	曜			
第 14 日	6 月 ～ 12 月		選択研修 下記の機関又は団体等が主催する研修及び研究大会から一つ選択 ○ 栃木県教育委員会、各教育事務所、各市町村教育委員会、各教育研究所 ○ 宇都宮大学及び教育学部附属幼稚園・小学校・中学校 ○ 栃木県小・中学校教育研究会 ○ 栃木県総合教育センター	各 研 修 場 所	各研修担当者
第 15 日	1 / 5	金	教科別分科会 ・ 課題研究成果発表会 ・ 研修自己評価 講話 「今、教員に求められるもの」	総 合 教 育 セ ン タ ー	大学等職員 学校教育課職員 総合教育センター職員

付 記 第 1 日には「とちぎ教育振興ビジョン（二期計画）概要版」を持参してください。